



BeoCom 1401

呼び出し音

BeoCom 1401 には 10 種類の呼び出し音設定があります。3 段階の音の高さと 3 種類のメロディからなる 9 つの組み合わせと、呼び出し音解除の設定です。

	低	中	高
遅い	1	2	3
普通	4	5	6
速い	7	8	9
解除	0		

呼び出し音の設定

Enter を押す

を押す

0～9 の設定ボタンの一つを押す

Enter を押す

呼び出し音が解除されている状態（設定 0）で、受話器を持ち上げてホルダー又はスタンドに戻すと、自動的に再接続されます。

初期設定は、5 です。

通話音量の調節

通話中、受話器の音量を **+** または **-** ボタンを押して 5 段階に調節することができます。すべての通話は中間のレベルの音量でスタートします。

音量を上げるには **+** ボタンを押す

音量を下げるには **-** ボタンを押す

リダイヤル

最後にかけた番号を再ダイヤルする場合は、

Rdl を押して下さい。

リダイヤルでは、番号を 31 桁まで記憶することができます。

Rdl を押すだけでは、メモリーに登録されている番号をダイヤルすることはできません。

Rdl ボタンを押して、リダイヤルできる状態にするには、受話器をホルダーに戻して

（または受話器の底面にあるスイッチ オフキーを押して）一秒以上待って下さい。

最後にダイヤルした番号が確実に BeoCom 1401 のリダイヤルメモリーに保存されます。

マイク

Ⓟ を押すとマイクが消音になり先方に聞こえなくなります。マイクが消音になっている間は、受話器にはビーという音がします。

Ⓟ を押すとマイクが接続されます。

注!) 他のボタンのどれかを 1 回または 2 回押しても、マイクは接続されます。

メモリー

BeoCom 1401 は、10ヶ所の電話番号を記憶することができます。これらは 0 から 9 のコード番号に登録されます。

メモリーでは 21 桁までの番号を記憶することができます。

電話回線の未接続状態が一時間以上続いた場合、登録された番号が削除されます。同回線でコンピューターのモデムや他の電話機を接続している場合にも起こります。

電話番号の登録

Enter を押す

Mem を押す

0～9 のコード番号を入力する

電話番号を入力する

Enter を押す

登録された番号に電話をかける

Mem を押す

0～9 のコード番号を入力する

登録された番号を削除する

コード番号に新たに電話番号を登録すると、そのコード番号に既に登録されていた電話番号は削除されます。

交換機での使用

電話番号の登録

Enter を押す

Mem を押す

0～9 のコード番号を入力する

電話番号を入力する

Enter を押す

登録された番号に電話をかける

外線アクセス番号を押す

Mem を押す

0～9 のコード番号を入力する

番号のリダイヤル

外線アクセス番号を押す

Rdl を押す

かけなおすときに R-ボタンが使われているときは、続いて入力された番号はリダイヤルに登録されません。

